

「KROSS×OVERアマチュア大会 -NEXTネクスト-」ルール対比表(小中学生MMA)【心技館 JOF総合 A ルール】

| 項目 | | 【心技館 JOF総合 A ルール】 (ジュニア) |
|--|--|--|
| | | ワンマッチ |
| 階級 | 中学生以下 (クラスA) ※男女混合 -25kg・-30kg・-35kg・-40kg・-45kg・-50kg・-55kg・-60kg | |
| 試合時間 | 3分1R | |
| 防具 | ヘッドギア | 主催者用意/フェイスガード付きヘッドギア |
| | レガース | 選手用意/スネサポーター (マジックテープタイプ不可) |
| | ニーパッド | 選手用意 |
| | グローブ | 選手用意/拳サポーター (オープンフィンガーグローブ可) |
| ●ファールカップ (男子は必須・女子は任意) ■試合コスチューム 短パン・ハーフパンツ・スパッツいずれも可。 尚、上衣はラッシュガード・裸のいずれも可とする。(但し、肘の部分より長い物は不可/女子はラッシュガードを着用) 試合進行妨げる衣服や、金具付きなど怪我の恐れがあるものは不可とする レスリングシューズは着用不可とする | | |
| 勝敗 | 勝敗の種類 | ■勝敗はKO勝ち、TKO勝ち、判定勝ち、引き分け、失格によって決定する 打撃による KO 勝ち ポイントによる優勢勝ち 反則 3 回、およびレフリーが悪質と判断した場合による反則負け 旗判定による判定勝ち レフリーが危険と判断した場合によるレフリーストップ レフリーが続行不可と判断した場合によるレフリーストップ |
| | 判定基準 | ●レフリー1名、サブレフリー2名による計3名の旗判定とする ●判定基準はアグレッシブ>ダメージ>ポジショニングとする ※ 反則があった場合、考慮した上で旗判定とする ※ 判定による選手や第三者の抗議は一切認めません ※ 特例でレフリー1名による判定もあります |
| | 打撃、サブミッション、ポジショニングによるポイント基準 | ■打撃 ●技がクリーンヒットしダメージが顕著に出た場合は KO とします ●技がクリーンヒットしダメージがある、または考えられる場合 2 ポイントとします ●ハイキックをクリーンヒットさせた場合、1 ポイントとします ●打撃により、相手を一方的に後退させた場合、1 ポイントとします ●ボディ攻撃やローキックによりダメージが認められた場合、1 ポイントとする ■サブミッション ●サブミッションによるタップアウト、またはレフリーストップで一本勝ちとします ●絞技(チョーク系、三角絞)において、技が成立している体勢になった場合、1 ポイントとします ●関節技において、クラッチが切れた際に技が成立する体勢になった場合、1 ポイントとします ■ポジショニング ・ガード、ハーフガード、サイド、トップ、マウント、バック(シングルフック可)いずれかのポジションを 3 秒以上キープすると 1 ポイント、テイクダウンからは+1 ポイントとする |
| | 注意・減点 | 軽微な反則は口頭注意から行なわれ、改善が認められない場合は注意 (-2 ポイント)、更に反則をした場合は警告 (-3 ポイント)、更に反則をした場合は失格となります |
| 反則技 | 【主な反則】 足の甲、足首スネ以外による全ての頭部への打撃 膝、肘、かかとによるあらゆる打撃、および指先、足先への打撃行為 脊髄、背骨へのあらゆる打撃行為 一方がグラウンドポジションでの両者のあらゆる打撃 グラウンドから立ち上がる瞬間の両者のあらゆる打撃 スタンド体勢でのバックチョーク以外の全ての関節、絞め技 前腕またはスネを押しつけて圧迫する絞め技 手首、脊髄への関節技 後頭部を強く引き、頸椎を圧迫させる絞め技 バスター、スパイクキングの禁止、又は投げの際に頭部から落とす行為 体を浴びせての大外刈りで相手を投げる行為 スタンドから飛びついてガードポジションをとる行為 相手の指、競技道具、衣類をつかむ行為 金的、目への攻撃、又は指による付き攻撃、又は道徳上許されない行為 カニばさみ、かわず掛け、さば折り等の怪我を誘発する投げ技 足に足を巻き付けて投げる行為(スタンドでのツイスターフックの禁止) 故意にリング、及びマットの外に出る行為 整髪量、ワセリン、体にオイルを塗付する行為 | |